

## セルコムデジ(CELC)

データセンターの急増、5G 展開、AI・クラウド需要の高まりに伴うダークファイバー需要拡大が追い風へ  
マレーシア | 無線通信 | 業績フォロー

## フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG CDB:MK | REUTERS CELC.KL

- 2025/12期3Q（7-9月）は、通信サービス収入が前年同期比1.5%増、調整後EBITが16.0%減。高付加価値戦略が奏功もコストが嵩んだ。
- Digi.comとセルコム・アジアタの統合に伴うシナジー効果を2027年度まで累計80-100億MYR（従来計画80億MYR）へ増額修正。
- マレーシアではデータセンターの急増、5G展開、AI・クラウド需要の高まりによりダークファイバー需要が拡大。同社へ追い風が見込まれる。

## What is the news?

11/17発表の2025/12期3Q（7-9月）は、通信サービス収入が前年同期比1.5%増の27.28億MYR、一時的影響を除く調整後EBIT（利払い前・税引き前利益）が同16.0%減の7.36億MYR、調整後純利益が同20.5%減の3.50億MYRだった。9月末合計加入者数が同2千人減の2049万3千人とほぼ横ばいで推移した一方、プリペイドをポストペイドへ戦略的に統合することに伴う高付加価値戦略が奏功し、ポストペイドの1ユーザー当たり平均収益（ARPU）が伸びた。利益面では、ネットワーク関連費用の増加およびその他の営業費用増加が響いた。前四半期比ではサービス収入が1.3%増、調整後純利益が20.3%減、9月末合計加入者数が11万9千人減少だった。

3Qのセグメント別売上高は以下の通り。①後払いのポストペイド収入が前年同期比5.3%増の10.51億MYR（加入者数が5%増の601万人）、②前払いのプリペイド収入が同4.1%減の10.91億MYR（加入者数が4%減の1234万人）、③家庭光ファイバー収入が同40.8%増の0.69億MYR（加入者数が63%増の26万人）、④エンタープライズ向け収入は、モバイルが12.7%減に対して、ソリューションが10.4%増だった。

## How do we view this?

通期会社計画は、通信サービス収入が前期比1桁前半の伸び率、売上高設備投資比率が14-16%、調整後EBITが同1桁前半～半ばの伸び率と、従来計画を据え置いた。同社は2022年11月末にDigi.comとアジアタ・グループ子会社（セルコム・アジアタ）との統合が完了し、2千万人以上の消費者および企業の加入者数を擁するマレーシア最大手となった。

設備投資削減などの統合シナジー効果は2025年9月までの2年9カ月のグロス額で24.1億MYR、統合コスト控除後のネット額で17.5億MYRに達した。2027年度までの累計ネット現在価値目標を80-100億MYR（従来計画80億MYR）へ引き上げた。統合コストは2024年をピークとして減少に転じ、業績への追い風になると見込まれる。

マレーシアでは、データセンターの急増、5G展開、AI・クラウド需要の高まりにより、ダークファイバー（光ファイバーケーブルの中で現在使用されない未点灯のファイバー）の重要が急成長。特に長距離サービスが主導している。通信事業者が光ファイバーを敷設する際、将来の需要を見込んで余分にケーブルを設置することが多いことがその要因となっている。ホーム&ファイバー事業を成長分野と位置付ける同社への追い風になると見込まれる。

## 業績推移

※参考レート 1MYR=34.78円

事業年度	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12F	2026/12F
売上高（百万MYR）	6,773	12,682	12,679	12,828	13,010
当期利益（百万MYR）	848	1,566	1,377	1,669	1,847
EPS（MYR）	0.10	0.13	0.11	0.14	0.15
PER（倍）	35.89	29.02	31.56	26.34	24.29
BPS（MYR）	1.39	1.39	1.37	1.38	1.38
PBR（倍）	2.58	2.71	2.53	2.72	2.71
配当（MYR）	0.12	0.13	0.14	0.14	0.15
配当利回り（%）	3.34	3.45	4.03	3.82	4.12

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

配当予想(MYR) 0.14 (予想はBloomberg)  
終値(MYR) 3.74 2026/1/27

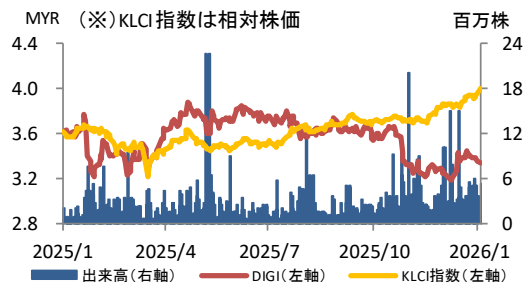
## 会社概要

ノルウェーに本社を持つグローバルテレコミュニケーションプロバイダーのテレノール・グループだった「デジ・ドットコム」と、マレーシアの通信グループであるアジアタ・グループのマレーシア子会社だった「セルコム」の2つの携帯通信事業者が2022年11月に統合して設立。

テレノールとアジアタ・グループがそれぞれ33.1%保有。2千万人以上の消費者および企業の加入者件数を擁するマレーシア最大手となった。

## 企業データ（2026/1/28）

ベータ値 1.02  
時価総額(百万MYR) 38,479  
企業価値=EV(百万MYR) 51,041  
3か月平均売買代金(百万MYR) 15.8



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

## 主要株主（2026/1）

(%)  
1. テレノール 33.10  
2. アジアタ・グループ 33.10  
3. EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD 10.51  
（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

## リサーチ部

笹木 和弘

+81 3 3666 6980

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会認定アナリスト、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考としてレポートの作成者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害について、フィリップ証券も、本レポートの作成者も、責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載することを禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則（平14.1.25）」に基づく表示>

・フィリップ証券または本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。